

かねんと

時代の流れ
あるいは新しい潮流
2020.2.25
No.56

鹿沼で活躍する女性たち

文化財を後世に伝えるためのお手伝い！

元鹿沼地域おこし協力隊 森崎礼子さん



Q.「地域おこし協力隊」(以下協力隊)にならなりたいけど何を教えてほしい。
森崎：私たち3人は日光山輪王寺の三仏堂三尊修理で出会いました。輪王寺さんのお仕事が終わった時、自分たちで工房を作ろうということになって。はじめは日光で物件を探しましたが見つからず、木工の町鹿沼にやってきました。その際、鹿沼にも協力隊という制度があり、支援してもらえると知って条件に合う私が隊員になりました。

4年前、中(なか)愛さん、井村香澄さん、森崎礼子さんという、それまで鹿沼に縁もゆかりもなかった3人が、仏像修理工房「三乗堂」を立ち上げ、活躍しています。そのいきさつなどを「鹿沼地域おこし協力隊」OGの森崎さんに伺いました。

Q. 協力隊としての活動は？
森崎：鹿沼版は、自らの生業により鹿沼をPRするというものなんですよね。なので、仏像修理の仕事を生懸命する感じがしてました。
Q. どうしてこのお仕事に就かれましたか？
森崎：私は、広く美術の勉強をしていましたが、実は仏像修理は学んでいません。奈良に生まれ、仏像などを多く見ていたのに、誰が修理しているかなど考えもしませんでした。輪王寺さんのお仕事に誘われたことがきっかけで興味を持ち、それまでの仕事を辞めてこの道に入りました。中さんと井村さんは同じ学校で仏像修理を学ばれていますが、申し合わせたわけでもなく、本当に偶然、奇跡的な出会いがあって今に至っています。



奇跡的なご縁で結ばれた、中さん、森崎さん、井村さん。(左から)



三仏堂三尊修理の時の思い出のヘルメット

Q. このお仕事に就かれたきっかけ、苦労されたことは？
森崎：ここに来たときボロボロの仏像を修理して、お返しの時に施主さんから喜びのお声を頂けるのはうれいですが、大変なことは、仏像を修理するときに、今まで伝わってきたお姿をなるべく残すのが私たちの修理方針なので加減が難しいことです。いつも3人で話し合いながらどんな風に直すか考えます。自分たちがこうしたいではなく、このものありきなので、よく仏師さんですかと聞かれるのですけど、自分たちの表現をしているわけではないので、仏師ではなく修理師ですと答えています。
Q. 今後のようにお考えですか？
森崎：工房を大きくして、いろいろな仕事に携わりたいいなと思っています。今も東北や岡山など、全国からお像の制作をお願いされています。これからもいろいろなご縁があればいいなと思っています。

※地域おこし協力隊とは※
大都市に住む人が地方へ移住し、地場産品の開発・販売PRや農林水産業への従事、地域おこしの支援などを行う取り組みです。総務省の呼びかけで平成21年度に始まりました。鹿沼市では4年前から鹿沼版としてこの事業に取り組んでいます。

取材を終えて
三乗堂 三人の女性
性仏師：ではなく、修理師のみなさん。お仕事の手を休め取材にご協力くださいましてありがとうございます。文化財をはじめ、その地域に古よりある仏像の修理保存に心血を注ぎ打ち込む姿に感激いたしました。これからも、ここ鹿沼の地で活躍くださることを期待しています！ (〇)
多様な性 インタビューという限られた時間でしたが、先生のお言葉のひとつひとつから、愛情を感じました。人権を考えると、学問、道徳とともに、理性的な慈しみも大切なことだと教えられたと思います。貴重なお時間ありがとうございました。(F)

令和元年男女共同参画セミナー11かめま

- 第1回7月23日(火)
男女共同参画を考えよう
講師：上都賀教育事務所 大橋礼子さん
- 第2回9月3日(火)
全ての人々が幸せに生きるために
講師：医王寺副住職 田戸大智さん
- 第3回11月13日(水)
道の駅を支える女性の活躍！
講師：道の駅ましこ 山崎祥子さん
- 第4回2月19日(水)
「LGBT」って知っていますか？
講師：宇都宮大学准教授 長香織さん

一人ひとりが輝き活力ある男女共同参画社会の実現をめざして ときめき鹿沼 2019

講演 元NHK「きょうの健康」
キャスターが伝授！
住み慣れた地域で暮らす
～男と女、それぞれが健康に生きるには～
講師 久田直子氏
令和元年9月14日(土)
鹿沼市民情報センター
※超高齢社会において、健康がどれだけ大切かを、データや体験をもとにお話しされました。女性が特に気を付けなければいけないのは足腰の弱り。男性では脳卒中など。どちらも予防が大切です。



開催しました！
男女共同参画係事業報告

♥かねんとイチオシ!♥
♪スマートフォンアプリ「マチイロ」
マチイロは、広報誌を無料配信しているアプリで、いつでもどこでも読みやすいと全国600以上の自治体が加盟しています。私は仕事柄いろいろな市町村を訪問するので、マチイロで広報誌をよく読んでいますが、市のイベント情報や検診などのお知らせが手軽に見られて便利です。アプリには他にもゴミ捨てや家計簿などもあります。生活に便利なものをうまく活用できるといいですね。

募集します!
情報誌「かねんと」編集員
男女共同参画セミナー運営委員
任期 令和2年4月1日から2年間
募集人数 各5人
募集条件
かねんと 20歳以上の市内在住者で、公務員又は公務員に準ずる団体の職員以外の人
セミナー 20歳以上の市内在住者で、年間8回程度出席できる人
どちらも3月13日(金)までに応募用紙を提出してください。用紙は人権推進課にありますのでお問い合わせください。
電話(63)8352

編集後記
年を取ると丸くなると言います。でも私は体型ばかりが丸くなり、本来の意味の中身はとんがってばかり。丸は、始まりがあって終わりまで来てまた繰り返すと、始まりと終わりがまるでなくなる。仲間たちと出会い、そこが始まりでも、関わり、話し合い、理解が深まると、一体いつ出会ったかなんてなくなり、昔からの付き合いに思えてくるのに似ている。しみじみ丸は良い。三角でも四角でも×でも良いが、これから続く人生で、また年を経て、改めて丸になりたいと思う最近です。
編集員 福田万里子・高橋和子・太田吉友・佐々木澄江

あなたも多様な性の一人です

鹿沼市は他の市に先駆けて「パートナーシップ宣誓制度」を始めましたね。これは人権に関わる、とても重要な取り組みだと思えます。制度があるということ、は大きな一歩だからです。ひとりひとりが人権や性について考えるきっかけになるという意味でも大切です。性のあり方を考えるとき、次のようなポイントがあ



宇都宮大学 良香織准教授

鹿沼市では昨年6月、県内初の「パートナーシップ宣誓制度」を開始いたしました。この画期的な制度を生かし、「性によって生きづらさを感じることはない社会」をつくるため、私たちができることは何でしょうか？
そこで、宇都宮大学の准教授で、性的あり方についてのご講演や執筆活動もされている良香織（うしろかおり）先生より、「多様な性」について伺いました。

性とは何でしょうか？人権は生まれながらにして持っている権利の総称です。これですと、ちょっとわかりづらいくらいですね。自分で自分の生き方を決めることができるということなんです。決めるにあたって必要な要件が権利です。誰かに「こうあるべき」を押し付けられないということが保障されなければなりませんし、

性とは何でしょうか？人権は生まれながらにして持っている権利の総称です。

「性は人権。そもそも人権とは？」
人権とは何でしょうか？人権は生まれながらにして持っている権利の総称です。これですと、ちょっとわかりづらいくらいですね。自分で自分の生き方を決めることができるということなんです。決めるにあたって必要な要件が権利です。誰かに「こうあるべき」を押し付けられないということが保障されなければなりませんし、

「人」は多面的。性にとらわれない。
無意識のうちには、性に関わって「こうあるべき」とか「それが自然だから」というような考え方をしています。「男性であるいは女性はあるべきだ」とか、「異性を好きになるのが当たり前だ」というような「決めつけ」です。
本当にそうでしょうか？人間は複雑で多面的な存在です。性はその人の属性のひとつです。それなのに性と関連つけて「この人はこうだ」と決めつけることは、人を狭い範囲で見えてしまうことになるのではないのでしょうか。性に関わる、自分の考え方の癖（思い込み）に自覚的に気づくことや、疑問を持つことが大切なことだと思います。

性について肯定的に考える。
性は生まれてから死ぬまで、一生を通じて関わってきますね。それなのに性というといやらしいことや恥ずかしいこととされることが多いです。これまで性は人権であるという事を学ぶ機会が限られてきました。一方で間違った情報があふれ、性に関わる様々な「生きづらさ」につながってきたとも言えます。
性のあり方は多様です。あなた自身も多様な性を生きるひとりです。そういう意味では誰もが当事者です。人権としての性を学ぶことは自分の生き方を見つめることになり、様々な「こうあるべき」から自由になることができ、楽しいことです。人権としての性の学びがもっと広がることで、鹿沼市の取り組みがより充実した制度として発展していくと思えます。

どのような生き方があるのか、選択を知らずには情報や教育が必要になります。また多様な決定をするにあたって、何か社会に課題がある場合に相談できること、そして声をあげて社会をよりよくしていくことも権利です。



鹿沼市ホームページ「かれんと」バックナンバーがご覧いただけます。
トップ>福祉・健康>人権・男女共同参画>男女共同参画>男女共同参画情報紙「かれんと」バックナンバー

誰もが自分らしく生きるために

多様な性についてかんがえよう ～性的指向と性自認～

あなたは「LGBT(エル・ジー・ピー・ティー)」という言葉を知っていますか？
次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることもあります。この機会に多様な性について考えてみましょう。
Sexual Orientation（性的指向）と Gender Identity（性自認）の頭文字をとった「SOGI」との表現もあります。



性的指向…どのような性別の人を好きかということです

- L** Lesbian レズビアン 女性の同性愛者（心の性が女性で恋愛対象も女性）
- G** Gay ゲイ 男性の同性愛者（心の性が男性で恋愛対象も男性）
- B** Bisexual バイセクシュアル 両性愛者（恋愛対象が女性にも男性にも向いている）

性自認…自分の性をどう思うかということです

T Transgender トランスジェンダー 「身体の性」が男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。「心の性」に沿って生きたいと望む人。



性的少数者には、LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性をきめられない、わからない人など、さまざまな人々がいます。

※「多様な性について考えよう！」（公益財団法人人権教育啓発推進センター）を参考に掲載しています。
<http://www.moj.go.jp/content/001249993.pdf>

<<鹿沼市の取り組み>>

鹿沼市パートナーシップ宣誓制度

戸籍の性、または心の性が同性である方向士が、お互いの合意のみに基づき、対等の立場で相互に協力し、共同生活を送ることを市長に対し誓うという制度。市長は、その誓いが真意であることを確認したうえで、パートナーシップ宣誓証明書を発行することができる。この制度により、法律上の効果を生じさせることはできないものの、宣誓証明書を、次の行政サービスを利用することが出来る。

- ・市営住宅の申し込み
- ・市営墓地・見笹霊園の永代使用許可申請、承継
- ・高齢者運転免許自主返納支援
- ・個人情報の開示請求の代理

※相続や税控除などの法律上の効果は生じません。

詳しくは、鹿沼市ホームページ [トップ](#)>
[ライフイベント](#)>結婚離婚>鹿沼市パートナーシップ宣誓制度について